

# 小田川っ子



平成28年度  
白河市立小田川小学校  
平成28年12月2日(金)  
第31号(124号)  
発行者 校長 小檜山 健

## 『第2回学校保健委員会』 「げんきな学校」

11月9日、第2回目の学校保健委員会を、PTA本部役員・厚生委員の方々と教職員の参加のもと、学校医や学校薬剤師の先生方をお招きして開催しました。

「学校保健委員会」とは、学校における子どもたちの健康問題について話し合い、健康づくりを推進するための組織です。今回は、本校児童の「心の健康に関する調査」「定期健康診断の結果」について、本校の生徒指導主事と養護教諭が報告した後、4つのグループに分かれ協議を行いました。

### 「心の健康状態は？」・・・心のアンケート結果から

アンケート内容	調査学年	主な課題
心の元気度	1～6年生	▲自己肯定感がもてない子ども ▲孤独感を感じる子ども
心のイライラ	3～6年生	▲暴力を肯定する子ども
思いやり・優しさ	3～6年生	○思いやりや優しさはもっている



今回は、下記のとおり「心の健康」についての話し合いをもちましたが、下の表のとおり、視力の低下がさらに進んでおり、大きな健康課題になっております。**10月に2回目の視力検査をしたので、勧告されたお子様は、必ず眼科医院を受診するようお願いいたします。**

#### ①「家庭での取組」グループ

- ・早ね、早起き、三食をきちんとすすめる
- ・朝食を食べる様子で体調が分かる
- ・子どもと同じ趣味をもち、楽しい時間を共有する
- ・親のイライラを子どもにぶつけない
- ・一緒にお風呂に入って、本音で話し合う
- ・仕事で遅い父と朝食は必ず一緒に食べる
- ・食欲がないとき、「何かあった?」「いつでも聴いてあげるよ」という雰囲気親が作り出す
- ・コミュニケーションがとれていると、子どもの小さな変化にも気付く
- ・ゲームをしているときの姿勢が悪い
- ・テレビは、距離をおいて見るようにする
- ・テレビやスマホの合計時間を決めている
- ・親子で家事を一緒にする
- ・子ども部屋でパソコンは禁止にしている
- ・子どもの行動を把握していることが大切なので、学校での出来事や友達の話などで、コミュニケーションを図る

心がけることは...

#### ②「学校での取組」グループ

- ・本当のやさしさ、本当の強さを子どもに考えさせる
- ・暴力性は、ゲームによる影響もあるので、現実との切り替えが必要
- ・教師と子どもとのコミュニケーションを大事にする
- ・読書教育(よい本・読み聞かせ)と道徳教育の推進
- ・遊び時間の確保(身体を動かして、心をリフレッシュしていく)
- ・教師が子どもの話を聴く機会を設けることで、子どもは安心感が得られる
- ・教員同士の情報交換を密にする(担任外の教師のかかわりも大切に)
- ・アンケートの後の面談を必ず実施し、子ども一人一人の心に寄り添っていく
- ・小学校は担任が1日子どもと一緒に、心の変化に気付きやすいので声かけしていく

### 「視力1.0未満の児童の割合」・・・視力低下、さらに増えています!

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小田川小	18.3	32.7	28.4	30.4	26.4	<b>35.3</b>	<b>44.7</b>	<b>48.7</b>
全国	29.7	29.9	29.9	31.2	30.5	30.1		

